



おおねにめ

発行 肝属郡大根占町役場

題字町長

昭和57年 5月号

No.352

町の人口(5月1日現在)

男 4,548人

女 5,106人

計 9,654人

4月1日より10人減



活気がなかった

今年の一 番茶摘み

例年高収入の一番茶、今年は、
晩霜の被害で収入は半減、生産
農家は大打撃でした。

(六面に関連記事)

自慢の牛を見くらべて
ウーン?



町の春季畜産品評会が四月九日、花ノ木家畜市場で開催され、グランドチャンピオンに小川功さん(落河)所有の

グランドチャンピオンに

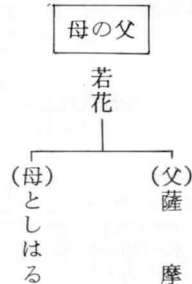
小川 功さん(落河)

春季畜産品評会

「としはる6」、また今回から新たにうけられた町長賞に「のぎく12」がそれぞれ選ばれました。

品評会には、せり市後二十四カ月齢までの生産牛など七十六頭が出場し、肝属畜連や家畜保健所、農協などの畜産技術員が、体型、資質、毛並み、肢蹄(しでい)について慎重に審査しました。審査後「全体的に運動不足のせいか足の弱い牛が多いようなので、運動をじゅうぶんにさせて、足の強い牛を育ててほしい。」との講評がありました。

町の畜産農業は、年々盛んになり、畜産に対する技術も向上し、体型、資質ともに優れた牛が育っています。粗飼料を主体としての飼育、生産牛に欠かれない蹄切りの技術などに意欲的に取り組んでおり、今後の畜産振興に大きな期待が持たれています。



チャンピオン

「としはる6」の横顔

昭和55年11月10日生れ



チャンピオンの「としはる6」

「としはる6」は、発育が良く、体型が整い、資質が特に優れていた。運動もじゅうぶんされているせいか、肢蹄が丈夫で、繁殖牛として理想的な牛であった。

スポット

満百歳を迎えた

丸山ツルさん(鳥浜)

明治十五年三月十五日生まれ



百歳万才!! 町内一の高齢者丸山ツルさん、ますます元気です。

川邊町長が表敬訪問

町内一の高齢者丸山ツルさん(鳥浜)は、三月十五日で、満百歳の誕生日を迎えられ、川辺町長の表敬訪問を受けました。

丸山さんは、小柄で顔立ちがはっきりし、目が大きくまん丸で、特に耳が大きいお婆さんです。体は、これといって悪い所はなく、なんでも食べて、大きな

声で話される姿は、百歳とは思えないほど元気です。川辺町長の表敬訪問を、何ごとが起きたのか、という緊張の様子で迎えたお婆さんも、いつまでも元気で長生きしてください。との川辺町長の言葉に、ていねいに頭を下げておられました。百歳になられた丸山さんには、敬老金十万円と記念品の洋ふとんが贈られました。

あなたですよ

事故でなくのは!!

引きつづき

57年度・58年度

交通安全モデル地域に指定

町は、いっそうに減らない交通事故の防止対策を強化するため引き続き向う二年間、大根占警察署管内の交通安全対策モデル地域指定を受けることになりました。

「町では、さっそく交通安全全町民推進運動協議会(町内各小中学校各官公署、事業所長等で構成)を開き、年間の運動方針、事業計画について話し合いました。」

本町の交通安全運動については、町と安全協会大根占支部が中心に、大根占警察署の協力を得て、広報活動、街頭



(交通安全指導員) 上川路照雄さん(栄町)



(交通安全指導員) 大藪 治美さん(旭町)

指導、自転車、単車の点検、シートベルト、ヘルメット着用呼びかけなどの外、安全週間中の安全旗の設置、立て看板の設置など、できる限りの事故防止対策を進めることにしています。

交通事故は、運転者、歩行者のちよっとした心がけで防げるものが多くあります。一人一人が安全運転に心がけ、交通ルールを守ることがまず第一です。みんなで交通事故防止につとめましょう。

毎月十日は交通安全家庭の日です。家庭において交通安全



(交通安全指導員) 宮川正幸さん(神川上)

全について話し合い、特に新入学児や保育園、幼稚園の園児をお持ちの家庭では、交通ルールとマナーについて実際に手をとって子供たちにおしえてほしいと思います。

町民総ぐるみで交通事故撲滅に努めましょう。

事故でなくのはあなたなのです。忘れないでください。

交通安全指導員に
上川路・大藪・宮川の三氏

町は、交通安全思想を啓発し、交通事故の防止を進めるため、交通安全指導員を設置しています。

今年度交通安全指導員の委嘱を受けたのは、上川路照雄さん(六十七歳・栄町)、大藪治美さん(五十八歳・旭町)、宮川正幸さん(四十四歳・神川上)の三人。この方々は、安全運動週間中はもちろん、毎月十日の交通安全家庭の日

原動機付自転車の事故防止

(ミニバイクも交通ルールを守ろう)



二十日の事故「0」の日など、雨の日も風の日も街頭に立ち、交通指導をしてもらいます。県や町が行う交通安全活動への参加、学校や部落で行う交通安全活動にも積極的に参加して、町内での交通事故防止のために頑張っておられます。

最近、若年者や女性を中心にミニ・バイクを初めてとして原動機付自転車が大変なブームです。運転操作が比較的簡単なことから、保有台数や運転免許取得者が増加しています。

ところが、こうしたブームとともに増えているのが交通事故です。原動機付自転車は、四輪車と違って全身が外部にさらされていますので、ひとたび事故を起こすと、取り返しのつかない事態を招くことが多いのです。操作が簡単だからと、なかには、自転車なみの安易な気持ちで運転している方もあるようですが、きわめて危険です。

原動機付自転車を利用してはいるみなさん、事故を起こさないように、また事故に遭わないように次の点に注意して安全運転に心掛けましょう。

- ①法定速度を守ろう。
- ②交差点では、一時停止や徐行をするなど十分注意しよう。
- ③道路の左側の端を走ろう。
- ④ほかの車から見やすいところを走ろう。
- ⑤ヘルメットをかぶろう。
- ⑥常に点検整備をしよう。

特集

ますます盛んになる社会体育

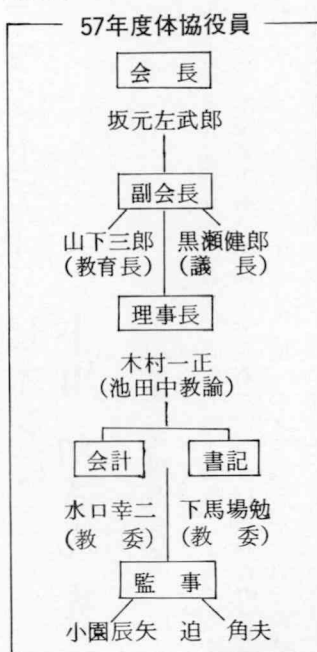
活動の中心は町体育協会

町体育協会評議員会が四月二十日、町中央公民館で開催されました。五十六年度の会務、会計決算、五十七年度の行事計画、予算案について話し合い、一部修正して承認されました。また、今年度の役員が別表(一)のとおり決定しました。

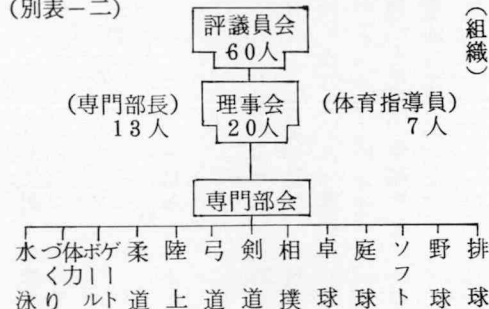
専門部ごとに活動

最近、町内全域に子供からお年寄りまで幅広くスポーツ熱が高まり、社会体育が盛んになってきました。今年度も多くのスポーツ大会が計画されていますが、この大会を一手に引き受けて活動しているのが「町体育協会」です。町体育協会は、町内に居住または勤務する者、すなわち全町民が会員となっている組織です。町民の皆さんが、健全なスポーツを楽しみながら仲間づくりと体力づくりをし、明るく、触れ合いに満ちた社会生活ができるようにするこ

(別表一)



(別表二)



とを目的としています。町体育協会は、町教育委員会に事務局があり役員は、別表(二)にある十三種類の専門部の正副部長と体育指導員七人、各校区振興会長、体育部長、町青年団長、各校区青年団長、町婦人会長、各校区婦人会長、で構成されています。専門部ごとの大会は、各専門部の役員が中心となって、日程、監督会、競技の進行などすべての運営を行っています。少ない役員で大会を盛り上げようと一生懸命頑張っています。また、体協総ぐるみで取り組む行事として、町民体育大会があります。町民体育大会

で活躍されるのが、校区振興会、町青年団、町婦人会の皆さんです。大会を盛り上げるため、選手選考と依頼、大会準備、進行などすべてについて頑張っておられます。その他、郡民体育大会、肝属地区大会、県大会も体育協会が主体となっています。このように体育協会は、町の社会体育全般にわたって活動しています。体協なくして町のスポーツ活動はできません。年々盛んになる社会体育、今後も体育協会の役員の皆さんの絶大なるご協力と全町民のご協力をお願いいたします。



町民体育大会でも体協役員が活躍

五十七年度
体協行事予定

5月	2日(日)	町子ども球技大会
5月	5日(日)	テニス大会
5月	10日(土)	女子ナイターソフト大会
6月	23日(日)	野球大会
6月	30日(日)	職域ソフト大会
6月	5日(土)	女子バレー大会
6月	6日(日)	職域バレー大会
6月	14日(月)	郡体ゲートボール予選大会
6月	20日(日)	卓球大会
6月	26日(火)	郡体野球ソフト大会
7月	18日(日)	郡民体育大会(串良町)
7月	27日(火)	年代別ナイターソフト大会
8月	21日(土)	県体肝属地区予選大会
8月	22日(日)	ソフトボール協会ナイターソフト大会
8月	23日(月)	ソフトボール協会
9月	9日(木)	部落対抗ナイターバレー大会
9月	23日(水)	野球大会
9月	27日(日)	ソフトボール協会

体育協会
専門部役員

- ※排球(バレーボール)
谷口悦郎、毛下重弘、宮下満郎、厚ヶ瀬博文、長元幹登
- ※野球
小吉昭弘、山中徹、小平清文、久保清隆
- ※ソフトボール
福岡英樹、田中幹雄、迫重



バレー大会も専門部が役

近代文明のめざましい発展で、今や国民の生活は猛スピードで激変しています。我が大根占もこの社会の変化に適応していくため、町民ひとりひとりが健康増進に努めなければなりません。その策として、指導者(人)施設(物)

社会体育の現状と一考察



町体育協会
理事長 木村一正氏
(池田中教諭)

な行為も健康法のひとつとして忘れてはならないことです。町体育協会も坂元左武郎会長を中心に、体育指導員、各校区振興会、婦人会、青年団などの協力と町社会教育課の指導で専門部組織を強化し、新しい飛躍のスタートを切りま



組織(事業)を充実すること大切ですが、自己の豊かな生活設計のための健康な体力づくりは、誰が誰のためになるべきかというのを考えるべきです。日常生活の中に、足腰の屈伸や背を伸ばすよう

町ソフトボール協会
三十二チームが登録

ソフトボール愛好者と競技団体で組織されているソフトボール協会は、今年で六年めを迎え運営も軌道にのってきしました。四月一日現在の協会登録団体は三十二チーム、人員にして約五百人となっています。

協会では、年二回(三月と八月(ナイター))の大会を行っています。今年、新たにA級だけのリーグ戦(ナイター)を九月に計画しています。また技術向上のための審判講習なども協会独自で行い、町のソフトボールの普及



審判の講習も独自で

発展に貢献しています。協会の運営は、大会参加費を各チームの登録料で賄われており、町の体育競技団体では唯一の独立した団体です。役員は、(会長)大山浩(副会長)川越和夫(理事長)福岡栄樹(副理事長)北則雄(事務局)長浜正明

10月	10日(日)	町民体育大会
10月	17日(日)	テニス大会
10月	19日(火)	秋期女子ソフト大会(ナイター)
11月	30日(土)	県民体育大会
11月	31日(日)	秋期バレー大会
11月	7日(日)	町内一周駅伝大会
12月	27日(土)	卓球大会
12月	5日(日)	歩こう大会
1月	29日(土)	郡青協駅伝大会
2月	6日(日)	スポーツ少年団ソフト大会
2月	13日(日)	春季バレー大会
2月	13日(日)	錦江信用組合杯ソフト大会
2月	27日(日)	ソフトボール協会設立記念ソフト大会
3月	6日(日)	ソフトボール協会団体は
3月	13日(日)	町内各種スポーツ大会の開催通知等の発送を受けるため
3月	27日(日)	町教育委員会社会教育課に登録しよう。



皆さんの苦情や要望を行政に反映

春の行政相談週間

5月16日～22日

ふだんの生活で、何か不便を感じていることはありませんか。役所の窓口で、不親切な扱いを受けたことはありませんか。このような行政上の苦情、要望、問い合わせを聞いて問題の解決に努力し、国民のためによりよい行政を目指す「行政相談」制度のねらいです。役所や公社、公団などが行っている

56年度簡易保険融資額

5千9百10万円

事業名	事業費	簡保融資額
公営住宅建設事業 (港団地1号、3号棟)	104,101千円	32,100千円
町道迫平線整備事業	10,283	7,500
農用地利用増進 特別対策事業	43,440	14,100
県単土地改良 かんがい排水事業(半下石)	9,850	2,800
小規模排水特別対策事業 (寺前、山ノ口地区)	9,630	2,600
計	177,304	59,100

簡保融資で建設された
城ヶ崎港団地



便槽 500ℓ 家族 5人 1回 2,080円 (現行) 2,360円 (改定後)
便槽 300ℓ 家族 4人 1回 1,250円 (現行) 1,420円 (改定後)
くみ取り料金は、計画的に
くみ取りを実施しています。
くみ取りの申込みは早目に
お願いいたします。

① 人件費の高騰
② 車輦の経費増
に処してのことです。この
値上り額を実際のくみ取りに
合わせてみますとおおよそ次
のような料金になります。
便槽 500ℓ 家族 5人 1回 2,080円 (現行) 2,360円 (改定後)
便槽 300ℓ 家族 4人 1回 1,250円 (現行) 1,420円 (改定後)
くみ取り料金は、計画的に
くみ取りを実施しています。
くみ取りの申込みは早目に
お願いいたします。

おしらせ
くみ取り料金が
18ℓ当たり
85円になります

農地転用は
許可を受けてから
畑や田んぼを山林や宅地に
変える場合には、
農地法の第四条、第五条の
許可申請をし、県知事の許可
を受けることになっています。
最近の申請では、すでに宅
地化、山林化しての始末書付
きの転用許可申請が多く、県
から注意を受けています。農
地は、許可を受けてから転用
するようにしましょう。
転用申請についての相談は
町農業委員会へおたずねくだ
さい。

日額
(2,709円)
県の最低賃金

鹿児島県最低賃金が改正さ
れました。効力発生日以降は
最低賃金額未達の賃金を支払
えば、最低賃金法違反を問わ
れます。事業主の方々はご注
意ください。
※ 最低賃金
一日 二千七百九円(一時
間は三百三十九円)
(昭和五十六年十一月十三日
から効力が発生しています。)

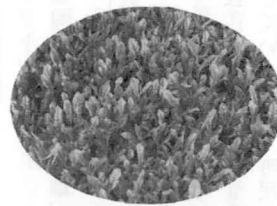
一番茶に霜害 約十三ヘクタールが摘採不能

晩霜で、大根占町の茶が大
きな被害を受け、茶生産農家
では、その対策に頭を痛めて
います。

四月九日、十日の明け方、
県下全域を襲った寒波で発生
した霜による被害は、町内全
域にわたり、面積で約十三ヘク
タール(販売用に生産されて
いる茶の面積の五十パーセント)



霜害を受けた茶の芽



正常な茶の芽

金額にして約三千万円の被害
額となる見込みです。

特に被害の大きかった地域
は、池田地区で、次いで海岸
線を離れた城元台地、塩屋台
地の風通しの悪い低地の迫地
帯です。被害の少ない地域は
神川、鳥浜地区をはじめ、塩
屋台地の風通しの良い台地で
特に注目されたことは、今年

「センダンの苗木」 元氣な老人ホームのお年寄り 百本を植える

町立養護老人ホーム錦江園
のお年寄りが、自分たちで育
てたセンダンの苗木百本を町
運動公園に植えました。この
センダンの苗木は、大根占小
の年寄り



から摘採予定の厚ヶ瀬地区が
霜害を受けなかったことです。
今年のような、摘採時期に
なつてから霜害にあったのは
初めてのことで、町とたんぐ
う農協では、その事後対策を
検討し、まず追肥(硫酸)を
し、肥培管理を徹底するよう
指導しています。
今後は、防霜ファンの取り
付け及び間接被覆などを実施
することが霜害対策として効
果があるようなので、農家と
話し合いながら対応してい
くことにしています。



壱岐部落に 四基の消火栓が完成

桜原部落で、四月二十四日
同地区入植六十八年を記念



入植68年めを祝う 桜原部落

する式典が行われました。
部落民のほとんどが、大正
三年の桜島の大爆発の後、同
部落に入植し、原野を開墾し
苦勞して現在の生活を築いて
こられました。入植当時は、
国の援助を受けながらの苦し
い生活でしたが、終戦後は、
陸稲を導入し、食生活も一段
と楽になりました。当時のワ
ラビキの家も次第に瓦葺きの
家に改築されました。今では、
大根を主体に、畜産、陸稲、
水稲など安定した農業経営が
されています。入植時の八十
世帯余りが、現在三十七世帯
に減っていますが、今後も、
入植当時の苦勞を忘れず、部
落民全員が協力し、部落発展
のために頑張ってください。

水の宝庫? と言われる壱
岐部落に、飲料水施設と消火
栓の施設が完成し、四月二十
三日、町の完成検査が行われ
ました。
消火栓の施設は、部落内に
四ヶ所設置され、いづれも性
能は万点。いざ!! という時
の初期消火にじゅうぶん役立
つものと思われます。
この施設は、町の補助事業
で行われました。

五月は

〔固定資産税
町県民税
軽自動車税〕

の納期です

(納期内に納めましょう。)

戸籍に関する情報は ホームページ上では 掲載していません

善意の話題

町社協へ

社会福祉事業に役立てて下さいと次の方々から、香典返しにかえ寄付がありました。厚くお礼申し上げます、故人のごめい福を祈ります。

氏名	() は故人
栗脇 衛	故人 部落名
小平万二郎	(早一) 寺 前
木場 良子	(ミネ) 半下石
徳永 幸助	(盛男) 塩 屋
遠矢 ミノ	(萬吉) 皆 倉
横山 弘之	(豊志) 宿利原
牛飼 映	(真) 塩 屋
田中 一	(フミエ) 皆 倉
	(ユキ) 山ノ口

※英聖江会(代表浜田マツエ)の皆さんが、チャリティー興

業の益金の中から、社会福祉のために役立ててくださいと多額の寄附をしてくださいました。ありがとうございます。

広報紙送付謝礼

鹿屋市在住の

番園 済治さんから金一封
東大阪市在住の

川越 藤一さんから金一封

すずしろの里へ

日置・鹿児島地区の

社会福祉協議会から金一封

川辺町

身体障害者協会から菓子

鹿児島県

社会福祉協議会からタオル